はれるんマガジン

～気象・地象に関わる素朴な疑問に答えます～

発行：福岡管区気象台　2026年11月号（第71号）

今月のテーマ

揺れてないのに津波が来るって本当？

「海の近くで大きな揺れを感じたら、すぐに高いところに逃げましょう」

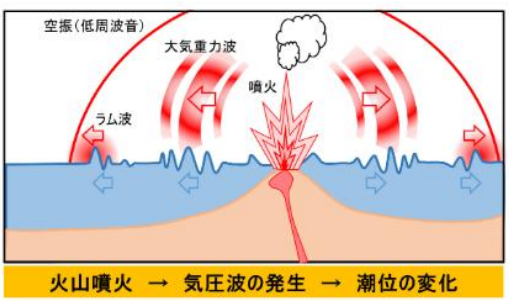
日本に住むみなさんの多くは、よくご存じの防災行動だと思います。でも、自分がいるところが揺れなくても津波が来ることがあるというのは知っていますか？

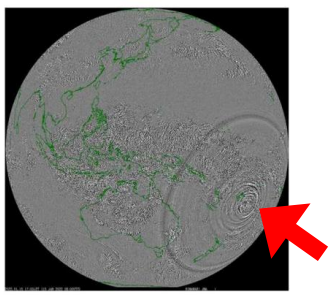
いくつか例を見てみましょう。

①　気圧の変化で津波が発生！？

2022年1月15日、南太平洋にあるトンガ諸島の海底火山、フンガ・トンガ＝フンガ・ハアパイ火山が大規模な噴火をしました。この影響で、日本でも最大134cm（奄美市小湊）の津波が観測され、船の転覆などの被害が発生しました。

これは、噴火によって急激に変化した空気の圧力が大気中を波紋のように広がり、その力が海面を押して津波を引き起こしたのです。また、気圧の波は音に近い速さで伝わるため、日本には予想よりも早く到達したことや、地震による揺れがないまま津波が発生したことも特徴でした。





気圧の変化に伴う
上空の温度変化を可視化

②　津波は地球の反対側からもやってくる！！

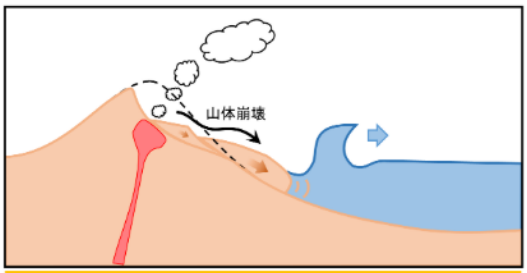
1960年5月23日、南アメリカのチリ沖で、観測史上最大規模の巨大地震が発生しました。日本では地震の揺れは感じられませんでしたが、北海道から沖縄まで太平洋沿岸の各地で津波が観測され、高い所では5mを超える津波が押し寄せました。その結果、日本での死者・行方不明者は139人にも上りました。

このように、揺れを感じないほど離れた場所で起きた地震でも、規模が非常に大きいと津波が広い範囲まで届くことがあります。一方で、日本から遠い場所で発生した津波は到達までの時間に余裕があります。津波警報等を見聞きしたら、落ち着いて避難しましょう。

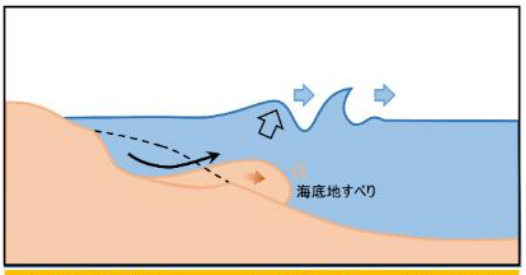
③　山が崩れて津波が発生！

江戸時代の1792年5月21日、島原半島の雲仙岳で地震と同時に山体が大崩壊を起こしました。崩れた土砂が有明海に流れ込んだことで大きな津波が発生し、島原に加えて対岸の熊本県（肥後）にも大きな被害をもたらしました。この災害は、まさにその状況を端的に言い表して「島原大変肥後迷惑」と呼ばれています。

このようなタイプの津波は、津波警報等が発表された時にはすぐそばまで津波が迫ってきている場合があります。山崩れや海底噴火を知ったら、津波のおそれがある場所からすぐに避難しましょう。



火山噴火 → 山体の崩壊 → 潮位の変化



海底面の地形変動 → 海面の上下 → 潮位の変化

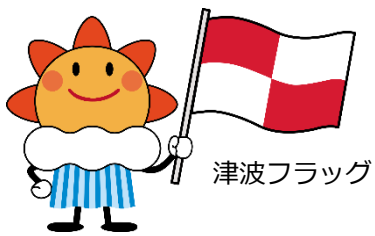
このように、揺れなくても津波が来ることはそんなに珍しいことではありません。

「揺れていない中で何やら津波警報が出た・・・。」

こんなとき、なんだか大したことが無さそうに感じるかもしれません。でも、揺れても揺れなくても、津波は津波で恐ろしさは変わりません。既にすぐそばまで津波が迫っている可能性があることも念頭に、津波警報等を見聞きしたら、迷うことなくすぐに海から上がり、高いところに逃げましょう。

では、揺れなければどうやって危険を察知すればよいでしょうか？

海の中にいてスマホの通知やニュースに気づけない状況の時に、津波警報・注意報の発表を知るための手段が「津波フラッグ」です。赤と白の格子模様の旗を見かけたら、すぐに避難を開始しましょう。


津波フラッグ



これだけは覚えよう

津波警報等が発表されなくても揺れたらすぐ逃げる！
揺れなくても津波警報等が発表されたらすぐ逃げる！



11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」

日本では、東日本大震災が発生した2011年に、津波対策について国民の理解と関心をより一層高めるために、「稲村の日」の逸話にちなんだ11月5日を「津波防災の日」として法律で制定しました。その後、日本をはじめとする世界142か国の共同起案により、11月5日は「世界津波の日」としても定められました。

全国各地で、津波防災の日を中心に地震津波防災訓練など、津波対策を強化するための取組みが行われています。この日を機会に、改めて地震や津波への対策を確認しましょう。

ご意見・ご感想をお待ちしています

問合せ先
〒810-0052　福岡市中央区大濠1-2-36
福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部
電話：092-725-3614
e-mail：fukuoka_bousaichousa@met.kishou.go.jp

令和８年５月より
いつ逃げる？
レベルで
判断！
気象の警報などが大きく変わりました

次回の発行は2026年12月の予定です。お楽しみに！